

エスペラントは心の国境を消すことばです

Organo de Hokkajda Esperanto-Ligo

Heroldo de HEL

N-ro 160

Julio 2015

HOKKAJDA ESPERANTO-LIGO

北海道エスペラント連盟

[Enhavo/目次]

- 表紙、Enhavo/目次 P. 1
- **Raporto pri Fru-somera Kurso de HEL/Gotoo Sumiko** P. 2
- **Raporto pri la kurso/Marcelo Yuji Himoro** P. 3
- **Klaso por progresantoj/Fru-somera Kurso 2015** P. 4
2015 初夏合宿中級クラス/HOŜIDA Acuŝi
- **Ekzercu vin!/初夏合宿中級クラス教材から/HOŜIDA A.** P. 5
- **Esperanto sur Ĵurnalo Hokkajdo/北海道新聞記事** P. 8
- つぶやき50連発/樺山 裕介 (函館市) Betululo P. 9
- **Letero el Sendai-E-Societo al S-ro OMO/Teduka T.** P.12
- **Danke ricevitaĵoj** P.13
- **Protokolo de la 5-a Komitato Kunsidode HEL/Kasjaro 2015** P.15
2015年度第5回北海道エスペラント連盟委員会議事録
- [編集後記/Redaktanto parolas P.16

Raporto pri Fru-somera Kurso de HEL

Gotoo Sumiko

- Kiam: p.t.m. de la 13-an kaj a.t.m. de la 14-an de junio
- Kie: Trejnada Centro de Hospitalo Ŝibata
- Partoprenintoj: 20 personoj (11 HEL-anoj, 5 studentoj de Hokkajda Universitato, 1 ilia amiko, kaj 2 varbiĝintoj de ĵurnalo, invitato-s-ro Marcelo Yuji Himoro)

○Klasoj kaj Gvidantoj

- 1) Klaso por komencantoj → s-ino Abe Eiko (2 lernantoj)
- 2) Elementa Klaso → s-ro Yokoyama Hiroyuki (7)
- 3) Klaso por progresantoj → s-ro Hoŝida Atuŝi (8)

☆ Por komuna kantado → s-ino Kanamori Yoŝiko (ĉiuj)

(Kantoj: Kanto de Kvar Sezoj, La Granda Kantado kaj Kun bluo de lazur')

○ Fininte la tradician eventon de HEL

Dank'al s-ro Miyazawa, kiu instigis al la studentoj partopreni en nia kurso, kaj eĉ 6 junuloj aperis antaŭ nin. Ili donis al ni gajan atmosferon, kaj kuraĝigis nin, maljunulojn. Mi dankas al ili, kaj esperas, ke ili daŭrigu lernadon de Esperanto kaj ankaŭ en la venontjara kurso denove partoprenu, mi esperas.

Al s-ro Marcelo Yuji Himoro mi estas tre dankema. Li alvenis al Sapporo ĵus antaŭ unu semajno antaŭ la kurso el tiel fora lando Brazilo. Certe li estis laca, tamen li estis tiel simpatie, ke li afable respondis al ĉiuj por diversaj demandoj. Certe lia partopreno multe kuraĝigis ĉiujn partoprenantojn.

En la klaso de S-ro Hoŝida

Anka ŭ mi havis ŝancon lerni, gvidite de s-ro Hoŝida. Verdire mi ĝuis plej multe ĉijaran lian kurson el la pasintjaraj 3 kursoj. La enhavo estis varia: poemoj de Zamenhof, I.U., kaj Deij. Trovi erarojn el diversaj frazoj. Fine solvi 50 poemajn enigmojn de LI Shijun. Dormemo ja frakasita! Mi dankas al s-ro Hoŝida.

Fine unu el la partoprenintoj, kiuj varbiĝis, trovinte artikoleton pri nia kurso en la ĵurnalo asertis, kiel Esperanto estas eminenta lingvo! Li laŭdis ĝian lingvan forton.

Ni, esperantistoj nepre transigu tiun trezoron al postaj generacioj!

Raporto pri la kurso

Marcelo Yuji Himoro

Saluton! Mia nomo estas Yuji kaj mi venas el Brazilo. Mi estas staĝanto pri Prilaboro de Naturaj Lingvoj en ekfirmao de la Universitato de Hokkajdo kaj restos en Sapporo dum 10 monatoj. Mia fako estas komputiko, sed mi nun studas la okcitanan lingvon en la Universitato de Montpeliero 3. Kvankam mi esperantiĝis preskaŭ du jaroj antaŭe, mi unuafoje uzas la lingvon eksterlande. Partopreni la Fru-someran Kunloĝadon de HEL estis por mi tre mirinda kaj riĉa sperto. De kiam mi eklaboris, mi ne plu havis okazaĵon uzi la lingvon krome interrete, kaj la lernado ja helpis min memori vortojn kiujn mi ne plu memoris. Mi kordankas ĉiujn partoprenintojn kaj la estraron de HEL pro la afabla bonveno kaj amikeco. Espereble ni renkontiĝos ree en Esperantujo!

Se vi pensas ke mi devas ŝanĝi ion, ne hezitu min demandi.

Amike, -Yuji

Klaso por progresantoj/Fru-somera Kurso 2015

2015 初夏合宿中級クラス

HOŜIDA Acuŝi

中級クラスで詩を取り上げようと思った理由は音読の材料としていいな、と感じたからでした。リズムと韻のある詩を読み上げれば 音読の楽しさ、面白さがわかりやすい、と考えたが 結果はどうでしたか。

今年は第 100 回世界大会が 110 年前第 1 回大会のあった Bulonj-sur-marco に近い Lille で開かれる。そこで第 1 回大会で初めてエスペランティストの前で読み上げられたザメンホフの詩 *Preĝo sub la verda standardo* から始めたが この最後の一章がなぜ「秘められた終章」になったか、当時のフランスの国内事情などに少し時間を取られました。これはこれで興味深い歴史ではあるが(NOVA VOJO にくわしく出ています)。

日本の詩人として取り上げるなら やはり K. Kaloczay が「これこそ詩人の声だ」と感嘆した伊東三郎から、となります。おそらく日本で最初のエスペラント原作詩人でしょう。

よく知られている(と私は思った) *Alten alten malproksimen* と、地方会の機関誌にささげられほとんど知られていない *Al Verda Kampo* を紹介しましたが 自然の姿を借りて人間の在り方を暗示する彼の手法は理解されましたか。

詩による謎解きもやってみましたね。これは詩で表現した初心者向き辞書、中国の E-Akademiano LI Shijun(李士俊)が初心者向きに作ったもの。詩であらわされた単語の説明を読んで *Pri kio temas?*(何のこと)と当てる。結構よく当たっていました。Esp 文の誤りを直す問題は Heroldo 前号の「辞書に親しみ、言葉を味わう」の延長です。

「中級」だから、質問、説明は出来るだけエスペラントで行う、と毎度高い目標は掲げていますが、まだもうすこし、でした。Esp 文添削で目立つ "l" と "r" の誤りについて発音練習でその違いを確認したかったが「中級」ではできなかった。ほかのクラスではどうでしたか。

Ekzercu vin!/初夏合宿中級クラス教材から

HOŜIDA Acuŝi

次の作文問題の解答例、これでいいでしょうか？ コメントをどうぞ。

1. 親戚の家族について：

彼女とその姉妹たちのことは 子どものときから知っている

--> Mi scias ŝin kaj ŝiajn fratinojn ekde la infaneco.

(コメント例) 「知っている」をあらわす単語は二つありました。

scias(<-- sci/i: Havi precize k senmanke en mensa poseo)

「知識として知っている、情報を持っている」こと。

konas(<-- kon/i: Memori, ke oni jam aŭdis, vidis, legis ion)

「経験を通じて知っている」こと。

この場合は？ 親戚同士の付き合いで、会ったり話したりして知り合っているわけですから

--> Mi konas ŝin kaj ŝiajn fratinojn ekde la infaneco.

の方が 適当です。

2. びっくりして私の顔を見つめた。

> Li surprizis kaj rigardis mian vizaĝon.

(コメント例)

surprizi は他動詞 (おどろかす) だから

「びっくりして」は「おどろかされて」と受け身の表現になります。

--> Surprizite, li fikse rigardis min.

3. 彼は自分でお金を使うことがないせいか、お金には無頓着でした。

> Pro ke li ne mem uzis monon, li estis nezorgema pri mono.

(コメント例) 「金田一京助先生との出会い/アイヌの碑」の訳文に "pro ke" が 3例出ていました。

意味は分かりますが、実用例では少ない (めったにない) ようです。

こんな場合一般的には

"pro tio(,) ke" または "ĉar" が使われています。

--> Li estis ne zorgema pri mono. ĉar li mem ne uzis monon,

4. 私は学校を長期欠席した。

> Mi longe forestis en lernejo.

(コメント例) 「欠席した」の使用例を探すと

*intence foresti la pianlecionojn

*foresti el klaso,

* Neniu volis foresti dum la unua leciono.

*komencas foresti lernejon aŭ laborejon,

があり、「――― を欠席する」の場合は

foresti en は見当たらないが

foresti el ---- と、

foresti -----n が ありました。

最後の例が一番簡単、実感に合いませんか。

5. 「隣に」(ある) は najbare de ?

「隣の」(もの) は najbara al ?

(コメント例) 「隣に」は辞書で、najbare de と出ているようです。

「隣に」は JEI の辞書では そうなっていますが

najbara 「隣の」で 「何に隣り合っただけ」の場合

PIV では najbara al io, al iu となっています。

実例を探すと

najbara al は見つかったが

najbara de は見当たらない。(あってもよさそうな気はするが)

ついでながら najbare の使用例では

*najbare al la distrikto Bergstraße,

*najbare de Banská Štiavnica,

と どちらもありますが このごろは de が優勢な感じ。

ドイツ人の文には al が多いようです。

6. 掲示板に次の文がありました。

> Ni ravis liliojn.

「ユリ(の花)の美しさにうっとりした」

だそうですが、そう理解できますか。

(コメント例)

> Ni ravis liliojn.

!!! はてな? コメントを送ってみました。

> 「わたしたちはユリ(の花)を魅了した」ですか。

> 花々をも うっとりさせ「私たちの美しさ!!!」

> おそれいます。

これで気が付いたか、次の「お返し」。

> Tre noblaj floroj,

> lilioj ravis nin.

と書き直され、文は まともになりましたが

> 辞書でかくにんができていませんでした。

> amas と同じ使い方だと思っていました。もちろん私も魅力的ですが、との添え書き付きでした。

ravi は 主語が (見る) ひとを魅了する、うっとりさせる こと。
辞書では その単語の使い方を示す例文も よく見てください。

7. Esperantigu jenan frazon.

こどもたちは いつも童話(la fabeloj)に関心がある。(interesi を使う)
(コメント例)

*interesi:関心(興味)を持たせる

① tenadi ies atenton, vekante scivolemon

② " , ĉar grava por ties utilo aŭ profito

--> La fabeloj ĉiam interesas infanojn.

辞書の使用例を よく見て理解してください。

8. Pri kio temas?

G.(= genro:属) de rabaj insektoj, kiu, atendante ĉasaĵojn, sidas kun la antaŭaj kruroj levitaj tiel, ke ili similas al preĝantoj.

(コメント例) 答えは "Manto"、カマキリ のこと。上の文は PIV(Plena Ilustrita Vortaro, SAT が出した絵入り辞典)にある単語 "Manto"の説明文です。

こどものころ この虫を「カマギッチョ」とよんでいたが 大人は "拝み虫"ともいっていました。上の PIVの説明文は まるでこの日本語(方言か) "拝み虫"の由来の説明になっていますね。

苫小牧エスペラント会代表

星田 淳さん(84)

人 ものがたり

言葉や民族の違いを越えて世界中の人々と自由にやりとりしたい。そんな願いから、1987年に考案された世界共通語のエスペラント語。少年時代に覚えて以来、海外の人と交流したり、地域の仲間とともに学んだりして、幅広いコミュニケーションを重ねてきた。7月下旬にはフランスに行き、世界各地のエスペラント語の話者と交流を深める予定だ。

世界中の仲間と交流

1947年、進学先の旧制五高(熊本市)近くにあって古本屋で、エスペラント語の教則本を見つけ、独習を始める。ポーランド出身のユダヤ人医師ザメンホフが考案したこの言葉は、文法が簡単で、母音も日本語と同じく「あいうえお」の5音しかない。富沢賢治や新渡戸稲造も熱心に学んだ。すぐにマスターし、エスペラント語を使う人の仲間入りした。



「文法も発音も簡単で世界中で通じるんですよ。エスペラント語の雑誌を手に語る星田さん」

ものは戦争一色に染まった軍国主義の世の中だった。それが、45年の終戦を機に、大人たちは手のひらを返したように民主主義の尊重を言う。「価値観が大転換するのを目の当たりにして、世の中は表と裏の両方を見ないとダメだと痛感しました」。国家や権力と結びつかず、平和を志向するエスペラント語を学ぶようになった、もう一つのきっかけである。

ほしだ・あつし 31年、札幌市生まれ。53年に九州大工学部を卒業後、91年まで王子製紙で勤務。61年に同好会の「苫小牧エスペラント会」を設立した。例会は月2回、市文化交流センター(本町1)などで開いている。問い合わせは星田さん ☎0144・74・2539へ。

ポーランドやデンマーク、スイスなど各国のエスペラント語と文通を続ける一方、61年に「苫小牧エスペラント会」を設立。講習会を地道に重ね、同好の士を増やしてきた。ただ、近年は会員の高齢化が進み、会員数は10人ほどで推移する。

「昔と違って趣味や娯楽が多様化したせいもあるかもしれませんが、国内で現在話せる人の数こそはつきりしません、世界のどこに行ってもエスペラント語とはいいます。覚えると、仲間の輪がすくく広がるんですよ」。笑みを絶やさずに語る朗らかさは、「希望する人」を意味するエスペラント語の話し手にふさわしい。

ほぼ年に1回のペースで開かれ、各国の愛好者が交流する「世界エスペラント大会」は今年、記念すべき100回目を迎える。フランスで7月下旬から8月上旬に開催される大会に苫小牧から参加する。「各国のエスペラント語の活動報告だけでなく、講演もあれば演劇もある。2千人ほど集まり、エスペラント語だけで話す。仲間との交流が本当に楽しみです」

エスペラント語と出会ってから70年弱。目を輝かせて語る様子から、言葉を学び始めた少年のころの表情が想像できた。(渡辺創)

つぶやき 50 連発

樺山 裕介 (函館市) Betululo

- 1 みなさん、音読していますか？ 大事なことなので、何度でも言います。音読なしでは、いっさい上達しません。
- 2 輪読は、労多くして、益少なし。みんなで読めば楽かと思いきや、一句残らず正確にわかるまで先に進まないの、かえって苦行になります。
- 3 わからないところは、適当にすつとばして、たくさん量を読む方がいいです。慣れるうち上達を実感できます。
- 4 「カルロ」は難しすぎて、初心者には無理です。「優」しいけど「易」しくありません。昨年、ネパールの民話集を読んだけど、これなんか初級の人におすすめです。
- 5 カタカナ英語などで類推して、辞書を引かないで解釈すると、まちがえますよ。veterano はベテランじゃないですよ。efiki と efekti と efektive は互いに全く意味が重なりませんよ。
- 6 辞書の引き方。引く前に、語根に分解できないか、ゆっくり考える。
- 7 辞書の引き方。語源辞典をひいて、ますます謎を深める。無味乾燥な単語に、潤いを持たせる。
- 8 辞書の引き方。PIV (エス・エス辞典) を引く。該当部分を音読する。わかるまで繰り返し読む。それでも、わからなかったら、あきらめる。
- 9 辞書の引き方。fermi だったら、Meti en staton, kiu malebligas en-au~ el-iron でした。出入り禁止になった箱が頭にうかんできました。
- 10 辞書の引き方。「そうか、fermi は meti の一種だったんだ」「fermi estas meti」 とつぶやく。
- 11 辞書の引き方。例文「fermi barilon, tirkeston, 」を meti で置き換えてみる。meti barilon...声に出して読む。

- 12 **fermi, fermi** とつぶやきながら PIV を閉じる。
- 13 辞書の引き方。その後、「エスペラント日本語辞典」をひくこともある。ひかないこともある。
- 14 辞書を引き終わったら、覚えたい単語なら覚えます。覚えなくても、当分、間に合う単語なら、忘れます。
- 15 テキスト本文に、日本語を鉛筆で書き込んではいけません。書きたければノートに書きましょう。
- 16 エスの宣伝では、エス会話を2人でやっているところを見せます。実際に見るまでは、たいがい来訪者は、エスを生きたことばだと信じていません。
- 17 エスの宣伝では、文通相手からの海外からの手紙、ハガキを見せると、うらやましがられます。必殺アイテムです。
- 18 エスペランティストの定義は、エスを知って使う人のことです。「知量」と「使量(実用)」のかけ算です。
- 19 私はいまエスペランティストではありません。使っていないからです。 $50 \times 0 = 0$ です。
- 20 入門終えただけで、敢然と世界一周して実践した加賀谷さん夫妻は、 5×100 で、ぼくよりもずっとエスペランティストだったわけで。えらいです。
- 21 プラハ宣言によれば、エスでせめて会話できるようにすることを自らに科しているのが「我々」なわけで。あたりまえなんですけど。
- 22 そういう努力をせずに、我こそはエスペランティストなり、と陶醉して意見する御仁は、ごめんこうむりたいです。
- 23 初心者いじめじゃないですよ。エスをできるかどうかじゃないんです。日々努力しているのかどうかなのです。
- 24 「エスペランティスト」は荷が重いんですよ。だから代わりに「エスペラント語学習者です」とか「エスペラント語愛好者です」とか、そういう気楽な表現を、もっと使っていていいと思いますね。
- 25 亡くなった中田実さん。台湾のスニちゃんへのお見舞いに、折鶴の代わりに、チャンチャンコを送りました。あ、目から汗が。

- 26 大会で思い知らされるのが、数詞。何時に何号室、何番、何ユーロと、聞き取れなくて、たいへんです。位取りもちがうし。
- 27 その苦手な数詞を、乱数表を声を出して読みまくって、やっと克服しました。
- 28 外国語学習法の本を読んで参考に。
- 29 12月15日より、7月26日を祝いたい。ルビコンを涉った日、つまりエスペラント語の誕生日です。ザメンホフさんも同じ気持ちだと思う。
- 30 聖書を、創世記から黙示録まで、音読で読みとおしました。全ページに、とんだ唾がしみている、人には貸せません。
- 31 安倍晋三氏のサイトに「地球市民」は信用できるか。地球市民になりたくて、エスペラント語を始めたんだけどな。
- 32 パチカン放送のアンドレアス神父の声が、渋くて好みます。
- 33 美味しんぼ 110巻・福島の実①に、木村園子ドロテアさんが出ています。
- 34 「多くの人が使っていた表現」より、「多くの人がわかる表現」を
- 35 *assembleo, konferenco, seminario, kongreso*… 違いわかりますか？
ぜんぶ *kunveno* でいいでしょ。
- 36 *organo*。臓器、機関誌、団体としての機関、声。意味多すぎます。
- 37 ブラジルの詩学者（すてきな女性だったなア）相手に、*Mi estas farmaciisto*。と言ってもわかりませんでした。*Mi estas medikamentisto* と言い直して、わかってもらえました。
- 38 先人に良くないところがあれば正すことが、先人たちにも、後から来る人たちにも、誠実です。盲従は尊敬ではありません。
- 39 *nome* (すなわち) を使って、どんどん言い直ししていきます。出て来たらそこで *assembleo, nome kunveno* と断っておいて、あとは *kunveno* を使い続けるといったように。
- 40 「エーの文字が」と言ったら、Eのこと。Aじゃないですよ。
- 41 地名はエス化しようと言ってるんですが、いやがられるんです。そこで、カタカナで書いてみました。ホカーイド、サポーロ、ハコダート、セnderヨ… あら、すてきじゃない？

(Daŭrigo al 14-a paĝo)

Letero el Sendai-E-Societo al S-ro OMO

Teduka T.

(Noto de Red.) 仙台エスペラント会(SES)の機関誌 Mejlŝtono に S-ro Teduka T, から Heroldo de HEL の前号に出た S-ro OMO の文について次の感想が載っていますので紹介します。S-ro Teduka は S-ro OMO の plej aĝa frato と同じ多賀城の市民です。

S-ro OMO!

Mi legis vian skribon kun larmo. Mi loĝas en la urbo, kie via plej aĝa frato loĝas, kaj kies triona loko estis atakita de la cunamo en la tago. Ankaŭ en nia urbo multaj estis mortigitaj de la cunamo. Via plej aĝa frato kaj mi estis feliĉuloj. Ĉi-tiun n-ron de nia organo Mejlŝtono eldonis SES(ne Sapporo, sed Sendai) en 2015-5-31. Hieraŭ estis tre epoka tago. La fervoja linio Senseki-linio de JR, kiu kunligas inter Sendai kaj Iŝinomaki, refunkciigis la tutan relon post 1541 tagoj(pli ol 4 jaroj), translokigante du stacidomojn kaj relon al pli alta loko, kaj nove refunkciigis Senseki-Tohoku-linio tre interesa. Jen proksimiĝas Onagaŭa, kie vivis via plej aĝa fratino Tanjo kaj ŝia edzo, kaj Ogacu, kie laboris la edzo de la dua filino de Tanjo. Mi kondolencas vin kaj plej aĝan fraton pri la tri.

Danke ricevitaj (星田淳扱い、読みたい方はご連絡ください)

* Novaĵoj Tamtamas; n-ro 304/
majo 2015, Internacia Gazeto de
Esperanto Jokohama (Hama-
Rondo) エスペランよこはまのエス
ペラント文会報、A4X4 頁。ESEOJ の
VASILIJ EROŠENKO-JAPANA P
OETO は連載 6 回目。ネパール大
地震の記事、写真も。

* La Tamtamo; 第 476 号、2015 年
5 月号、NPO 法人エスペラントよこは
ま(Esperanto Jokohama)会報
横浜エスペラント会は 4 月横浜市から
NPO 法人として認証され NPO 法
人エスペラントよこはま になった。
機関誌の内容は従来と同じ。「講習
会だより」には入門講習ひとつ、Kata
luna クラス、読書・会話"Vizaĝoj"ク
ラス、翻訳クラス が進行中。投稿
欄に「久保記念館炭訪/土居智江
子」。

* La Informilo de Nagoja Esper-
anto-Centro/センター通信 277majo
2015, 名古屋エスペラントセンター
発行、B5X18 頁のうち E 文 8 頁半は
Pri la islamaj teroristoj/maeda,
Mia studenta vivo en Perugio/
Ito Tošihiko, Revivigo de Budhi-
smo en Barato/Yamaguti Sin'iti,
Pilgrimado al Caravaggio kaj
aliaj/ Ito Tošihiko.

日本語記事:センター総会(4 月)の
報告、活動報告、東海エスペラント
大会(6 月)の案内。

* 受講生通信;第 160 号、2015-6-
01,沼津エスペラント会、B5X12 頁の
うちエスペラント文 1 頁。しばらく見え
なかった北海道からの受講生(中
級)が 1 人。Bonvenon!!

* Ponteto(Bulteno de Esperanto-
Ligo en Regiono Kantoo) Majo
2015 N-ro 270、B5X20 頁のうち E
文 6 頁 MIRAKLO EN XUZHOU(徐

州奇譚)/SASAKI Teruhiro、徐州
竹林寺の韋駄菩薩のはなし。「ネ
パール大地震/堀泰雄」は現地から
の報告、写真。巻頭には第 64 回巻
頭エスペラント大会(6 月)へのお誘
い、続いて案内。

* Meĵstono 2015 majo, n-ro 249,
仙仙台エスペラント会、B5X16 頁の
うち E 文 5 頁。巻頭記事は"La 35a
Verda Kunlogado/第 35 回仙台緑
の合宿へのご案内"。"Danke ricev
-itaj 受領機関誌等"では Heroldo
de HEL n-ro 159 の"11.3.'15 La
memor-tago de la katastrofo"
についての感想文が付けられてい
る。

* Novaĵoj Tamtamas; n-ro 305/
junio 2015, Internacia Gazeto
de Esperanto Jokohama (Hama-
Rondo)/エスペラントよこはまのエス
ペラント文会報、A4X4 頁。ESEOJ
に"Handikaptito je okuloj/Murata
Kazuyo", 視覚障害者と朗読奉仕
活動について、"Hortensioj en Mar-
paradizo/Mizro Iwaya" は八景島
シーパラダイス、海の公園、などにつ
いて。VASILIJ EROŠENKO-JAPAN
A POETO は 1929 年ごろのチュクチ
半島での生活。

* NOVA VOJO ;N-ro 518 junio
2015, EPA(エスペラント普及会)、A5
X34 頁のうち E 文 8 頁。巻頭言は
「第 25 回国際エスペラント合宿を終
えて/松本朗」:4 月韓国で行われた
合宿のこと、1991 年北九州市で始
まった この国際合宿の歴史など。
「UK の 100 年—ちょっと小路へ(6)」
はグスタフ・ラムステットの連載開
始。

* Junia SFERILLO 2015 年 5 月 23
日 電子受信:SFERO(San Francis
co Esperanto Regional Organizat

ion:サンフランシスコ地域エスペラント組織)発行、6月6日の499回月例会予告と5月例会の報告。Esp.と英文併用。SFEROは7-8月行事を休むがこの間にNASK(北米学習講座)、63-a Landa Kongreso de ESPERANTO - USA(6月末)、第100回世界大会などがある。9月12日には第500回月例会と記念Bankedoを行う予定。

* La Tamtamo; 第477号、2015年6月号、NPO法人エスペラントよこはま会報、A4X8頁、日本文。トップ記事はNPO法人になって最初、第1回総会プログラム。「5月のハマロンダ・ベスペーロ(HV)」から姉妹都市交

流関係の記事三つ。第99回読書会報告は"Modernaj Robinzonoj" de Teodoro Schwartz について。一次大戦後のシベリア捕虜収容所脱走記。

* La Movado:関西エスペラント連盟(KLEG)発行、N-ro773, junio 2015, B5x16頁のうちE.文4頁。Kajero Libervola は Germanaj Milit-kaptitoj en Marugame II / Kosaka Kiyoyuki. 一次大戦中四国のドイツ兵捕虜収容所のなかに反独的ドイツ兵収容所があった事情。少数民族などドイツ兵との kunvivo を拒否するものがあつたため。

(Daŭrigo de 11-a paĝo)

42 初めてのクラスで、elementa kurso. elementa などという単語に次に出会うのはずっと先です。入門者が、かわいそう。komenca で置き換えしましょうよ。

43 きまりきったあいさつ言葉は、実際の会話では、ほとんど使いません。白々しくなるからです。

44 駅名にエス語がついた JR 釜石線に乗りました。車窓風景の移り変わりが、ほんとうにきれいな線です。

45 対訳を作るときは、日本語文を書いてからエスに訳するより、エスで書いてから日本語文を書く方が楽です。

46 よく知らないことばに訳するより、よく知っていることばに訳する方が楽だからです。

47 「英語でさえできないのに、エスペラント語なんか無理そう」という人には、「エスペラント語でさえできないのに英語なんか無理ですよ」

48 希望となるか。日本エスペラント科学者協会の佐野寛さんが、広葉樹を使ってセシウムを除去する方法をあみだしています。

49 日露戦争後と第一次世界大戦後に日本でエスが流行したのは、戦争が悲惨だったからではなく、勝ち戦だったからという説を立てているんだけど、今のところ賛同者なし

50 それでは、みなさん、ごきげんよう。

Protokolo de la 5-a Komitato Kunsido de HEL/Kasjaro 2015
2015年度 第5回北海道エスペラント連盟委員会 議事録

日時:2015年5月24日(日)13:00~14:30

場所:札幌エルプラザ2階会議コーナー

出席者:阿部、後藤(純)、星田、山下、横山、後藤(義)記

(川合事務局長は入院のため欠席)

<組織>

新規加入者なし、退会2名(切替英雄、中野常明)

<財政>

ザメンホフ祭、地下歩行空間デモ、機関誌ほか予算内支出、
2014年以降会費期限切れの会員に振り替え用紙同封

<広報>

ホームページのアクセス数 72,262 前月比+293
メールマガジン 未発行 初夏学習会に向けて発行予定

<情報・宣伝>

初夏学習会勧誘パンフ エルプラザ、かでの2・7に各50部づつ

<教育・研究>

(札幌)土曜会 テーマ別会話、プーチンの取り巻きを輪読
ピンペーロイ アミーコイを輪読、来月から空飛ぶオレンジに
(苫小牧) サロメを輪読

新会員募集は会場が確保できず断念

<機関誌>

Heroldo159号発行。20ページ、90部
100号から星田が編集責任者になり、以後通算60号を数える

<年間計画>

初夏合宿 6月13~14日、会場柴田内科循環器科研修センター
講座 入門(阿部)、初級(横山)、中級(星田)、歌唱指導(金森)
北海道大会 10月17日(土)総会、パンケード(17:00~を予定)
10月18日(日)一般公開講座 アレキサンドラ綿貫氏を予定、
講演内容は未定だが日本の漫画が海外でどう読まれているかま
たは国際結婚について。ほかにクレマン夫妻が参加予定。8月
の世界大会の席で星田委員が決める。

<次回予定>

7月5日(日) 10時から機関誌印刷、発行
PM1:00から委員会

[編集後記/Redaktanto parolas]

*初夏合宿、みなさんの参加、協力、ありがとうございました。ブラジルからの参加など初めての方もあって活気がありました。komencantoj をどうしたら増やせるか、考えましょう。

*12頁のS-ro OMO への手紙は仙台E会の機関誌からとりました。今年の日本E大会は仙台ですね。

*前号の「サハリンのうた」の読み取れなかった部分、ハバロフスクの筆者からの手紙によると

> Ĉi tie noktoj ĉiam mol***

は

→ Ĉi tie noktoj ĉiam molaj is

だそうです。is は estis の短縮形。estis, estas を短くして is, as とするのは 詩で 時々使われます。

北海道エスペラント連盟 会費/年

正会員 3000円、青年会員(26歳未満) 1500円、

購読会員 2000円、家族会員、失業者など割引 1000円

HOKKAJDA ESPERANTO-LIGO

*Redaktas la Organa Fako de HEL

c^e HOS^IDA Acus^i

Miyanomori 2-18-18, TOMAKOMAI

053-0844 JAPANIO

TEL-FAKS: 0144-74-2539

Retadreso: hosidaacusi@kir.biglobe.ne.jp

*Sekretario: KAWAI Yuka

*事務局: 川合由香

N-ro 100, Simin-Katudo-Sapoto-Senta

〒060-0808 札幌市北区

Sapporo L-Plaza 2F, Kita 8 Nisi 3

北8条西3丁目札幌エルプラザ

Kita-ku, Sapporo, 060-0808 Japanio

市民活動センター レカーズNo. 100

TEL-FAKS: 0126-35-7153

Retadreo: kunespere@olive.plala.or.jp

*TTT-ejo : <http://www.hokkajda-esp-ligo.jp/jp/index/index-j.htm>

*Pos^tg^irkonto (郵便振替) : 02700-6-17075